

もシカっちからのお知らせ

職場の朝会、家族の団らん、お客様との話題などにご活用下さい



長野県消費者被害防止啓発キャラクター
もシカっち

令和5年2月末の「電話でお金詐欺（特殊詐欺）」被害状況（暫定値）

◇認知件数 **21件**（前年比**-4件**）

※ オレオレ詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺、キャッシュカード詐欺盗の4つの手口だけで、認知件数の90%を占めます。

◇被害額 **1億30万円**（前年比**-636万円**）（被害額1万円未満切捨て）

※ 1件あたりの被害額は477万円余りとなっています。

2月中の被害発生状況は、被害認知件数9件中、オレオレ詐欺4件（45%）、架空料金請求詐欺3件（33%）、還付金詐欺1件（11%）、金融商品詐欺1件（11%）

犯人の電話は自宅の固定電話にかかって来ます！！

電話に出ると犯人の**話術**にだまされてしまいますので、電話の相手を確認するために「電話対策」を実施して、犯人からの電話をブロックしましょう。

【電話対策例】



- 在宅時も、留守番電話の実施
- 迷惑電話防止機器の活用
- ナンバーディスプレイ機能の活用
- 非通知着信拒否設定の活用

特殊詐欺犯人の本音

Q. なぜ、電話対策が有効か？

A. 特殊詐欺の架け子（※電話を架けて被害者をだます役）

は、留守番電話設定や防犯機能付き電話の警告アナウンスが流れた場合には、すぐに電話を切って、再び架けることはしないそうです。なぜなら、“**電話に出て対応してくれる人**を探した方が効率がいいから”だそうです。

また犯人は、自分の声が録音されたり、だましの手口を知られることを嫌がります。捕まりたくないの、証拠を残したくないのです。